

### 【目的・用途】

本試薬は、メンブレンから一次抗体及び二次抗体を取り除くバッファーです。ストリッピング後のメンブレンはリプロービングが可能であり、抗体濃度や抗体の種類を変更して、数回のシグナル検出を行うことが出来ます。発色基質を用いた検出には使用できませんのでご注意ください。

### 【特徴】

- 1) 抗原への影響が少ない、マイルドなストリッピング
- 2) 1液で使用可能な ready to use タイプ
- 3) メルカプトエタノール不含
- 4) 室温での操作が可能

### 【内容・保存方法】

内容	容量	開封後の保存方法
ストリッピングバッファー	1L (約 25 回分)	室温

※ 溶液は白濁しております。

※ 保存条件によっては沈殿が生じる場合がございます。沈殿が生じた場合、十分混合し、溶解してからご使用ください。

### 【使用期限】

上記保存方法にて6ヶ月

### 【その他必要な試薬】

- ・TBS(1×) (BW-1011 TBS(20x)をご使用いただけます)
- ・TBS-T

### 【使用上の注意】

本試薬は強酸性です。皮膚などに付けないように、手袋等、適切な保護具を着用して取扱ください。

### 【基本プロトコール】

1度目の検出終了後、メンブレンが乾かないように十分ご注意ください。

#### ① ストリッピング<5~10分間×2回>

メンブレンをストリッピングバッファー(約20mL)に浸し、室温で5~10分間振とうします。その後バッファーを新しいものに交換し、再度室温で5~10分間振とうします。

※溶液は白濁しております。

※液量は容器によって異なります。メンブレンが十分浸る液量で行ってください。

#### ② Wash<10分間×2回>

メンブレンを十分量のTBSに浸し、室温で10分間×2回振とうします。抗体反応に影響を及ぼす為、ストリッピングバッファーを完全に除去してください。

#### ③ Wash<5分間×2回>

メンブレンを十分量のTBS-Tに浸し、室温で5分間×2回振とうします。

上記の操作の後、通常通りブロッキング→一次抗体反応→二次抗体反応を行い、2度目以降の検出を行ってください。2度目以降の検出では、1度目よりもバックグラウンドが高くなる場合があります。

### 【トラブルシューティング】

トラブル	原因と対策
ストリッピング出来ない	抗原・抗体の相互作用が強い。反応温度を室温から37°Cまたは60°Cに上げて行い、反応時間を延ばしてください。
	液量が少ない。メンブレンが十分に浸る量のバッファーを用いてください。
2回目の検出におけるバックグラウンドが高い。	ストリッピング後のブロッキング条件が不適切。ブロッキング時間や温度等、ブロッキング条件を最適化してください。
	抗体濃度が高すぎる。再度ストリッピングを行い、抗体濃度を希釈してリプローブしてください。
シグナルが低いまたは無い	抗原が失われたまたは少ない。新しくプロットを行い、先に抗原の少ない方から検出してください。
	タンパクまたは抗体濃度が低い。より多くのタンパクをゲルにロードしてください。また、抗体濃度を増やしてください。



株式会社ファーマフーズ アプロサイエンスグループ

〒770-0865 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階

■Tel:088-678-6372 ■Mail:bio@apro-s.com

■URL:https://apro-s.com/

本社 〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原1-49